

令和元年度(2019年度) 理事会のポイント(第1回から第6回理事会)

第1回 令和元年(2019年)6月30日理事会

(主な議案)

- ・総会での理事承認を受けて、第1回理事会を開催し、代表理事(会長)として太田雄貴を選任(再任)しました。

第2回 令和元年7月13日理事会

(主な議案)

- ・協会事務局の移転について、以下の通り承認しました。

主たる事務所移転先: 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

移転の時期: 令和元年7月13日

- ・役付理事任命について、以下の通り承認しました。

副会長	山本 正秀
	齊田 守
	末松 英司
専務理事	宮脇 信介
常務理事	佐藤 衛
	飯田 徳光
	福田 佑輔
	浅井 直樹
	蕭 敬如

- ・登録遅延料(登録規定第7条第2項)について審議しました。本年については既に登録遅延料を請求すべき期間に入っていることにくわえて、その水準についてはさらに議論が必要との意見が大勢を占めたことから、本年は登録遅延料を徴収しないこととするとともに、来年度以降の登録遅延料の取扱いについては継続審議としました。

(主な協議事項)

- ・協会組織構成の件: 当協会の組織体制について議論しました。
- ・日本フェンシング協会殿堂入り創設の件: 当協会に長年に亘り貢献された方を表彰し殿堂入りさせるという構想について議論しました。
- ・協会メールアドレスの取り扱いの件: 当協会のメールアドレス管理の方法について議論しました。

(主な報告事項)

- ・学校訪問の件
- ・2020委員会第2回議事録およびDT業務報告の件

第3回 令和元年8月25日理事会

(主な議案)

- ・協会組織構成について審議しました。一部修正を加えて、他は原案どおりでこれを承認しました。詳細はホームページに掲示致します。
- ・委員会運営規程について審議しました。内容について、さらに吟味すべきとして、継続審議することとなりました。
- ・協会が競技会について後援・協賛・主催等に関する規則について審議しました。後援・協賛・主催を認可する場合の条件や、主催する場合の条件を明確とすべきとの意見が出され、継続審議することとなりました。
- ・当協会が新規に設定する殿堂入り表彰規程について審議しました。選出は理事会にて決定とすべき等の意見が出され、本日の審議を踏まえて原案を法務委員会において修正することを条件として承認しました。
- ・テストイベント実施の体制について承認しました。

(主な報告事項)

- ・茨城国体の実施概要について
- ・2018/2019シーズンの競技結果、世界選手権大会結果、男子エペ無意欲試合について
- ・コンプライアンス案件について
- ・2020報告について

第4回 令和元年9月29日理事会

(主な議案)

- ・スポーツ庁のガバナンス・コードの策定を受け、ガバナンス確保のための一連の作業体制について審議し、承認しました。
- ・継続となっていた委員会運営規程策定について審議し、承認しました。
- ・新たに実施する運びとなった殿堂入り表彰について、山本耕司氏、田淵和彦氏の殿堂入りを審議し、承認しました。
- ・利益相反規程策定の準備について協議しました。

(主な報告事項)

- ・ 2019 世界ベテラン選手権派遣選手名簿について
- ・ 当協会の構造的問題と対応について
- ・ ルール・審判委員会組織について
- ・ 小中学生海外派遣事業について
- ・ コンプライアンス案件について
- ・ 強化に係る予算の執行状況について
- ・ 2020 東京オリンピック FIE への推薦審判員名簿について
- ・ サプリメント回収について

第5回 令和元年 10 月 27 日理事会

(主な議案)

- ・2022 世界選手権を日本に誘致することを本年のFIE総会に上程することについて審議し、半年程度を目処として、開催地並びに大会概要を定めることを条件とし、これが満たされない場合には開催申し出を引き下げることが出来ることを条件として、承認しました。なお、検討のため委員会を設置することとしました。
- ・2020 年鹿児島国体開催要項について審議し、これを承認しました。なお、日本フェンシング協会主催の大会におけるジュニア以下のカテゴリーの防具・武器基準について競技会事業本部と普及育成事業本部にて検討し、その結果を踏まえて、必要に応じ計画的に大会要項等の変更手続きを行うことが付け加えられました。
- ・倫理・懲戒規定改正について審議し、一部技術的な修正を加えて、これを承認しました。変更の主旨は、①同規定に協会コーチを明確に盛り込むこと、②内部通報窓口担当者に秘密保持義務を課すこと、③新しい組織体制との整合性を確保することです。
- ・情報開示窓口設置について協議しました。同窓口を設置する目的は、情報開示により当協会運営の透明性を確保することです。

(主な報告事項)

- ・NTC 利用について
- ・全日本団体戦役員について
- ・総務企画(広報)委員会委員名簿更新について
- ・医学委員会名簿について
- ・2020 委員会会議議事録について

第6回 令和元年 11 月 24 日理事会

(主な議案)

- ・謝金規程変更について審議し、これを承認しました。なお、当協会負担で上乘せすることが可能なのか、支給基準に幅を持たせることが可能なのかなどについて、本日欠席している福田佑輔強化本部長を含めて、さらに議論をしていくこととなりました。
- ・委員会運営規程改正の件について審議し、これを承認しました。
- ・ユニバーシアード選手選考会主管の変更について審議し、これを承認しました。この決定により、本選考会の主管は、日学連から本協会(強化本部)に変更となります。
- ・登録規程の改定について協議しました。現行規程第11条の別団体の登録に関し、実態に即した改定を行うべきとの意見が出され、本件に関しては、事業本部連絡会において引き続き検討していくこととなりました。

(主な報告事項)

・倫理委員会委員名簿について

なお、本報告に関しては、本理事会で成立した改正委員会運営規程に従って、他委員会委員とともに、理事会承認手続きを経ることとなりました。

・安全対策(FIE 新ルールの適用)について

以上